



22年度補正予算

一般会計に1億5671万円を追加し、総額を52億6658万円としました。

- 主なものは次のとおりです
- ◆協働のまちづくり事業費補助金 152万円
 - ◆地域エネルギー資源活用調査事業 399万円
 - ◆地域子育て環境整備事業 369万円
 - ◆感染症予防事業費（新型インフルエンザ対策） 668万円
 - ◆高齢者世帯等水洗濯普及支援事業費繰出金 200万円
 - ◆ラーチパーク法面補修工事 400万円

公共土木施設等の被害一覧

区分	被害金額
河川	21カ所 5億3,470万円
道路	28カ所 2億3,250万円
農用地	21カ所 4,400万円
林道	4カ所 400万円
農道	2カ所 300万円
水道	1カ所 200万円
砂防	1カ所 1億2,000万円
計	9億4,020万円

水が2世帯2棟、床下浸水が6世帯10棟で発生しました。30日現在における道路や河川など、町と県を合わせた被害状況は次のとおりです。

なお、農作物の被害面積は15畝、被害農家は延べ79戸、被害総額は1560万円です。

災害関連補正予算

一般会計に財政調整基金から5000万円を繰り入れ、総額を51億987万円としました。主なものは、農地災害の復旧に対する助成350万円、飲料水供給施設の修繕料や測量・設計業務の委託料などです。

- ◆企業立地促進奨励事業費補助金 1352万円
- ◆若者雇用促進奨励金 30万円
- ◆河川等災害関連事業費（測量調査、詳細設計業務） 1575万円
- ◆小学校施設維持修繕事業費（葛小ポイラー修繕） 160万円
- ◆災害対策経費（緊急速報配信サービス利用料） 15万円
- ◆全国消防操法大会出場助成補助金 339万円



11月12日愛知県蒲郡（がまこり）市で開催の全国大会へ出場する6分団

道路整備など11項目を要望

第57回岩手郡町村議会議員大会



提案説明を行う鈴木議員

第57回岩手郡町村議会議員大会は7月28日、滝沢村の滝沢ふるさと交流館で、県議会議員や郡内の町村長、議会議員など約80人が参加して開催されました。

- 1 地方の道路整備促進
 - 2 道路整備関連事業の推進
 - 3 県立高等学校の存続
 - 4 農業振興対策の推進
 - 5 林業振興対策の推進
 - 6 医療保険制度の改善
 - 7 治水対策事業の促進
 - 8 市町村総合補助金事業の継続
- ほか3項目

請負契約

- ◆葛巻小学校屋内運動場整備工事
 - ・契約金額 1億9845万円
 - ・契約相手 樋下建設(株)

財産取得

- ◆地上デジタル放送対応テレビ(114台)
 - ・契約金額 648万円
 - ・契約相手 (有)コンケイ

人事案件

- ◆教育委員(再任)
 - ・任期 平成26年9月30日



竹川 高行さん (54歳・正路)

要請の審査結果

新岩手農業協同組合から出された過剰米対策に関する要請について、輝くふるさと常任委員

大会では、11項目の要望事項について各町村から提案説明が行なわれ、本町からは鈴木満議員（輝くふるさと常任委員会副委員長）が、農業振興対策の推進について提案理由を述べました。

農業振興対策については、新たに策定した「食料・農村・農業基本計画」を有効なものとし、食の安全と安心を確保するとともに、食料の安定供給や農業の持続的な発展が必要と説明。

また、林業振興対策については、多面的な機能をもつ森林資源を保全し、木材生産の循環システムを確立するとともに、二酸化炭素排出量取引の一層の促進が重要であると訴えました。

この大会は、郡内の議会議員が一堂に会して、要望事項などの早期実現を図ろうと毎年実施

会で審査し、次のとおり意見書を提出しました。

意見書の内容(要約)

過剰米対策として、緊急に政府が買い入れを行うとともに、平成22年産米以降の過剰米対策を早急に確立し、実施すること。

意見書の提出先

内閣総理大臣及び農林水産大臣。

臨時
議会
8月4日

行政報告(要約)

7月には、局地的な大雨が3回と、8日に西部地区への降ひようがありました。いわゆる「ゲリラ豪雨」は、3日に小田・星野、17日には土谷川・吉ヶ沢・毛頭沢など西部地区、24日から25日にかけては小屋瀬を含む上外川、三菓子地区など主に町の南部に被害をもたらしました。特に17日の大雨では、床上浸

しているもので、要望の内容は表のとおりです。

引き続き大会では研修会が行なわれ、社団法人東北地域環境計画研究会の由井正敏会長から「猛禽(もうきん)類(注)保護と地球温暖化防止」と題して講演をいただきました。

講演では、最近、造林や下刈りが行なわれなくなり、イヌワシなどの繁殖率が低下。間伐などの手入れをすることが重要であり、生物の多様性の保全は、地球温暖化の防止にもつながると話されました。



猛禽類保護を訴える由井正敏氏

(注) 代表的な鳥はフシヤタカなどで、鋭いつめやくちばしで、他の動物を捕まえて食べる鳥類の総称。